

あじさいだより

新年度のご挨拶



社会福祉法人 誠和

特別養護老人ホームあじさいのおか牛窓

施設長(統括管理者) 三石 哲也

新たな年度となりました。平成7年11月開設以来、ご利用者の皆様、ご家族の皆様、地域の多くの皆様に支えられてきました。大変感謝いたしております。

新型コロナウイルスが発生し、丸3年が経過しました。皆様におかれましても、大変なご苦勞があったのではないかとお察しいたします。

この4月からは対面での面会を再開することとなりました。3月にはマスク着用が個人の判断となり、5月には感染分類が2類相当から5類へ移行するなど、仕組みが変わっていくこととなります。

当法人もリスク管理をしながら、地域の皆様との繋がりを再構築していきたいと考えております。

今後も、引き続き地域の中核として皆様に愛され、頼りにして頂けるように各サービスの一層の充実を図るべく、努力をしまいたい所存でございます。

地域の皆様が、住み慣れたこの瀬戸内市で安心して生活していくことができるように当法人全体で全力でサポートしてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【あじさいQ&A】



特別養護老人ホームには何百人も待っている人がいて入れないと聞いたのですが？

特別養護老人ホームの待機者は入所施設が増えてきたことで以前より多くはありません。また、入所の基準は申し込みの順番ではなく、入所申込者の心身の状態や家庭環境を考慮して入所の優先順位を決定しています。お困りの際には、まずご相談下さい。



◆寄付・寄贈御礼(3月)◆

在本 美津子
谷全 祥市
(敬称略)

ありがとうございました。



ケアハウスにご入居の神寶昌様は 100 歳をお迎えになられ、3月1日瀬戸内市より副市長と職員の方3名が来館して下さり、賞状とお祝いの品を贈られました。ご自分でしっかり挨拶をし、受け取られていました。その後、長女様もご一緒に記念撮影を行いました。

ご本人様は「前よりよう忘れるようになった」と言われることもあります。変わらない生活を維持されています。物腰、穏やかな優しい性格の方なので、癒しの存在となっています。ケアハウスのご入居者様、スタッフを含め皆様から「自分も頑張らないといけない」と言われることもあります。長寿のお手本となっています。



健康講座

突然の腹痛には、要注意

腹痛は、便秘や感染性腸炎やストレスなどいろいろな原因で起きます。

しかし、注意しないといけないのは、急性腹症で、早く手術をしないと生命に危険が及ぶものが多いので要注意です。すぐに病院を受診してください。

急性腹症の主な病気

- ・胃、十二指腸潰瘍や穿孔
- ・腸閉塞
- ・急性虫垂炎
- ・卵巣の病気 など

症状

- ・激しい腹痛
- ・顔面蒼白、額に冷や汗、脈が弱い
- ・腹部が張ったように固く、嘔吐する

注意



手当

- ・ベルトやズボンを緩め、横向きで膝を曲げるなど本人が楽な体勢にする。
- ・お腹を温めたり、冷やしたり、下剤はダメです。
- ・飲食物を与えないでください。
- ・病院に着いたら、医師にどこの部分が、どのように、続けてなのか時々痛いのかなど、伝えてください。また、吐いたものがあつたら、医師に見せてください。病気の診断に役立ちます。

募集中!

保育所

| |
|---------|
| 【キラリ】 |
| 1名：空きあり |
| 【キッズ】 |
| 5名：空きあり |

保育所の
お問い合わせ

キッズ:0869-34-6373

キラリ:0869-34-6374



あじさいだよりはホームページからも読むことができます

「社会福祉法人 誠和 特別養護老人ホームあじさいのおか牛窓」ホームページ

<http://ajisai-s.or.jp/wp/>

あじさいだより

検索



QRコード